

(様式3)

事業所名:グループホームゆうあい

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年 3月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(10)	○チームでつくる介護計画 日常の記録を残していますが、介護計画が日々の支援に活かされておられません。	介護者が介護計画について理解を深める 経過記録の内容を定期的なモニタリングに活用できる仕組みをつくる	日々の介護記録と、介護計画書の各項目とをリンクさせることで、記録者(介護者)が、サービスが計画書通りに提供されているか、目標達成に向かっているか、意識的に確認できる様になります	6ヶ月
2	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 面会等はありませんが、家族からの意見をなかなか確認することができない	アンケート調査を行い運営内容に関しての意見や要望等を伺う機会とする 面会時に、家族から質問や意見などを受けやすくなる仕組みをつくる	年1回を目標に、利用者と家族を対象にアンケート調査を行い、結果については全家族に報告をするものとします 面会時に職員が、意見や要望を伺えるよう、面談シートを作成し、家族様からの意見の確認に努めます	6ヶ月
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み コロナ終息後においても年6回の開催と各委員からさまざまな意見をもらうための取り組みを期待します	感染症終息後は速やかに対面の会議を定期開催する。また感染症対策が長引く場合は、意見をもらうための手段を計画します(ネット参加等)	コロナ終息後において年6回の開催を行う委員のリモート参加について調査する	3ヶ月
4	(1)	○理念の共有と実践 9項目からなる理念が設定されていますが、全職員で理念を実現するための取り組みを期待します。	1つ1つの項目から、職員にもう一度周知をはかり、理念の実現に向けて対応する	カード等に1項目ずつ印刷して、手帳やロッカーの扉の裏側などに貼り付けて職員の目に触れる機会を増やす 社内研修の際、本題の前に1項目ずつ理念を学ぶようにする	2ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。